



村と村民が寄贈した旧木造校舎。



平成21年の創立60周年記念紅葉祭(文化祭)。



避難に伴い平成24年から福島市に置かれたサテライト校。



本校と共通の校章。クロバトは緑の大地と農業を表し、中心の「ア」は校訓「質実剛健」と建学の精神「勤勉・勤労」を象徴しています。



14年ぶりに復活した宮内の笠踊りと手踊りが神事の中で奉納されました。



主催者を代表してあいさつする同窓会飯館支部長の伊東利(とおる)さん(関沢)。「情熱ある教育を行っていただき、3,400人の同窓生が村内外で活躍している。飯館校、そして関係者の皆様に感謝し、大切に記憶に留めたい」。

福島県立相馬農業高等学校飯館校の歩み

- 昭和24年 「大館分校」(農業科・家庭科)として開校(草野小校舎を一部使用)
- 昭和31年 村の合併に伴い「飯館分校」と改称 独立校舎を深谷地区に新築
- 昭和41年 全日制課程(3年制)となり、農業科・家政科を設置
- 昭和57年 校舎落成
- 平成元年 創立40周年記念学校祭を開催
- 平成3年 農業科を廃止し、産業技術科を設置
- 平成5年 制服改定
- 平成8年 産業技術科・家政科を廃止し、普通科を設置
- 平成11年 類型制(総合、生活福祉、産業情報、自然科学)を導入 創立50周年記念式典を挙行
- 平成15年 普通科定員40名となる
- 平成16年 3類型(総合、生活福祉、自然科学)に改編
- 平成17年 制服改定
- 平成20年 「飯館校」と改称
- 平成21年 創立60周年記念セレモニーを開催
- 平成23年 原発事故による避難に伴い福島県教育センターへ移転
- 平成24年 福島県立福島明成高等学校の敷地内の仮設校舎へ移転
- 平成29年 平成30年度以降の募集を停止
- 令和元年 創立70周年記念式典 荒天のため中止
- 令和2年 3月1日に休校式 4月1日より休校
- 令和5年 9月15日に本校に統合

飯館校では本校の校歌の4番を校歌として歌っていましたが、平成20年に「飯館校」となったことを記念して独自の歌詞を募集しました。選定には在校生が関わり、卒業生・山田幸さんの歌詞を採用。校歌のメロディで歌う「愛唱歌」が誕生しました。

校歌

やまさとはまの 幸拓(まひら)かんと
智慧(ちえ)の利(とく)剣(けん)を 携(たづ)ねもちて
心の玉(たま)を 磨(と)ぎゆくこそ
我が学舎(まなびや)の 真(まこと)の使命(しめい)

愛唱歌

碧(みどり)の山の 光射(あかり)す飯館(いり)は
わが故郷(ふるさと)の 心(こころ)の支え
勇気(ゆうき)と希望(きぼう) 両手(りょうて)に抱(いだ)き
進むぞ我等(われら) 願(ねが)いを込(こ)めて

平成21年10月に創立60周年記念紅葉祭(文化祭)が開催され、同記念コンサートで「愛唱歌」が歌われました。



レンギョウの鮮やかな黄色が春景色に映えます。

目次 CONTENTS

- 02 話題「相馬農業高校飯館校感謝祭」
- 04 特集「こども園 読書活動全国表彰」
- 08 学びの広場「入学式・入園式」
- 10 お知らせ「村の新しい顔」
- 11 ミニ特集「さくらイベント」
- 12 空から百景「春らんまん」
- 14 ほけんとふくし「集団健診」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 村からお知らせ
- 20 いいたてイノサル通信
- 21 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 22 村民広報委員コラム ほか
- 23 愛染故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／公式LINEのお知らせ



今月の表紙

大久保金一さん(小宮)が自宅周りで手入れを続ける「マキバノハナヅノ」。水仙が見頃となり、撮影におじゃましました。花を愛し花に囲まれ暮らす大久保さんは「花仙人」と呼ばれています。この日は「一度この景色を見てみたい」と千葉県から訪れたご夫婦にも出会いました。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

相馬農業高校飯館校 74年の感謝を込めて 同窓会が開いた飯館校感謝祭に寄せて

福島県立相馬農業高等学校飯館校は、令和5年9月15日に本校に統合され、74年にわたる歴史に幕を下ろしました。

同校は、昭和24年に「大館分校」として草野地区に開校。飯館村が誕生した昭和31年に「飯館分校」、平成20年に「飯館校」と改称しました。平成23年には震災と原発事故による避難で福島市に移転。同年からは同市内の仮設校舎で、飯館校サテライト校として足跡を刻みました。

同校の卒業生は約3400人。

村内唯一の高等学校として優れた人材を輩出し、また、生徒のさまざまな活動が村に活力を与えてきました。平成30年度の募集停止にあたり村立高校としての存続も検討されましたが、令和2年度からの休校期間を経て、令和5年の本校統合となりました。

同校の敷地を含むエリアが産業団地として開発される計画を受けて、同窓会の有志が感謝祭を企画。4月21日、時折ハラハラと桜が舞い散る校舎の前で神事を行い、関係者が想いを語り合いました。